



議会だより

な お し ま

年頭挨拶「『世界の直島』と言われ続けるために」…………… 2P
 八日山地区の崩壊対策工事は 等(町長・教育長報告) …… 4・5P
 町財政の見通しは 等(一般質問3人) …… 6・7P
 「島コソ」カッパル8組誕生 等(委員会報告) …… 8P
 尊敬していた姿を体験 等(中学生1日議会体験記) …… 9~11P
 見ている人も楽しい気持ちに(がんばりよるで) …… 12P

2025
No.210
 令和7年1月10日

発行 ● 香川県直島町議会
 編集 ● 広報編集特別委員会
 電話 ● (087) 892-2297
 印刷 ● 山陽印刷(株)



明けましておめでとうございます

『世界の直島』と言われ続けるために



議長 井下 良雄

みなさま、明けましておめでとうございます。

心身ともに明るく健やかに新年のスタートを切られたと思います。

新しい年が町民みなさま、そして直島町にとってすばらしい年になることを心から祈念申し上げます。

さて、年頭の抱負、心構えを想う時、やはり昨年我々議員が語った目標の成果を顧みる必要があります。昨年1月発行の議会だよりを見ますと、「移住定住・住宅対策、福祉の充実、執行部のチェック、日本一の町になる」等々、議員全員がそれぞれの目標を掲げました。私自身も「人口増加策、観光客受け入れ体制、議会改革」を目標に「不易流行」と「積小為大」を念頭にと抱負を語っていました。

さてさて、皆が掲げた目標達成のための活動はどうだったか。100点ではないにせよ、委員会での提案、一般質問での意見等々、町の将来のため知恵をしぼり、方策を町執行部に提案したことは議員の仕事としてがんばったが、力量不足か理解が得られなかったと考えています。

その意味で、昨年12月12日の「人権・同和教育講演会」の河内理恵先生の「言葉力」「良い信頼関係を築く7つの習慣」等の教えは、話すこと提案することが仕事の我々議員の基本中の基本を教わった気がしました。

町長が「できない」ではなく「……したらできる」と答弁させるべく、しっかりと説得力ある「言葉力」で話さないといけないと切に思いました。

今ほど、世の中の移り変わりの激しい時はないと感じるほど、世界中は進化し続けています。例えば隣の小豆島のバスはキャッシュレスを導入。観光訪問税も既に検討に入っているとお聞きしました。

今のままがいいという考えは、まちがいなく取り残されます。正しく「不易流行」伝統を守りつつ、時代の流れに応じて新しいものを取り入れる改革が必要な時期であると考えます。

昨年12月のある日、福武財団の幹部の方と立ち話をしました。その方曰く「何事も一番最初にするのは大変難しい。後からするのはマネをしたら良いので楽だ。しかし、大事なことはそれを継続し発展し続けることであり、私たちのアートでの活動はそれを目指しています」と話されていました。「不易流行」そのものの考えといえます。

今年2025年は瀬戸内国際芸術祭の年、島が来島者たちであふれかえる激動の年ともいえる年となるでしょう。

今後の直島が「世界の直島」と言われ続けるため「不易流行」進化し続ける直島になりたいと心から望んでいます。



山上 英一



山下 玲子



松島 俊雄



小野 孝一



浜口 敏夫



宮原 三郎



中根 清孝



西岡 裕喜広

12月定例会

令和6年第4回定例会が12月10日から11日までの会期で開催されました。一般質問に3人が登壇。令和6年度一般会計、特別会計の補正予算など報告1件、議案5件、意見書案1件を審議し、いずれも原案どおり可決し、全日程を終了しました。



赤松 千恵子氏

教育委員会委員に赤松千恵子氏を再任することに同意しました。
任期は令和7年3月10日から令和11年3月9日まで

委員さん
よろしく
お願いします

人事

意見書

再審法改正に向けた速やかな議論を求める意見書

えん（冤）罪は、犯人とされた者やその家族の人生を狂わせる国家による人権侵害である。それ故、我が国では憲法において多数の刑事手続関連条項を設け、刑事訴訟法等の法律を充実させることによって、えん（冤）罪の発生を防止しようとしてきた。しかしながら、人の運用する制度である以上、ときに誤判が生じるおそれは払拭できず、誤判により生じたえん（冤）罪被害者は迅速に救済されなければならない。誤判により有罪判決を受けたえん（冤）罪被害者を救済する再審制度については、刑事訴訟法（第4編再審、以下「再審法」という。）に規定が設けられているが、再審が認められることは稀であり、えん（冤）罪被害者の救済は容易には進んでいない。その要因として、日本弁護士会連合会の「えん罪被害者の迅速な救済を可能とするため再審法の速やかな改正を求める決議（令和5年6月16日決議）」では、刑事訴訟法に再審に関する規定がわずか19条しか存在しないという制度上の問題があり、再審請求手続に関する詳細な規定が存在しないために、個々の裁判体の裁量が多量にも大きいことが指摘されている。その中でも特に重要な課題として、①再審請求手続において証拠開示規定が存在しないこと、②再審開始決定に対する検察官の不服申立てにより審理が極めて長期化していること、③再審請求手続における手続規定が整備されておらず、請求人の手続保障が十分になされていないことの3点が挙げられている。このうち、再審請求手続における証拠開示については、刑事訴訟法等の一部を改正する法律（平成28年法律第54号）の制定過程において、再審請求手続における証拠開示の問題点が指摘され、同法附則第9条第3項において、政府は同法の公布後必要に応じて速やかに再審請求手続における証拠の開示等について検討するものと規定されているにもかかわらず、今なお制度化は実現していない。また、再審開始決定に対する検察官の不服申立てについては、不服申立てによって、更に審理が長期化し、えん（冤）罪被害者の救済が遅延することが指摘されるとともに、検察官は不服申立てによらずとも、再審公判において主張の機会が保障されており不都合はないとの見解もある。そして再審請求手続における手続規定に関しては再審法に規定が少なく、とりわけ、審理の在り方については明文の規定が存在せず、裁判所の広汎な裁量に委ねられている。そのため、裁判所の訴訟指揮により大きな差が生じるという問題があり、再審請求手続における手続規定を整備する必要があるとの意見がある。近年、再審事件の動向に関する報道により、再審やえん（冤）罪被害に対する社会の関心が高まり、日本弁護士会連合会などから再審法の問題点も指摘されている中で、地方議会においても再審法改正を求める意見書が採択されている状況にある。

ついで、国におかれては、えん（冤）罪被害者を迅速に救済するため、再審法改正に向けた議論を速やかに行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年12月10日

香川県直島町議会

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、法務大臣



小林町長

八日山地区の崩壊対策工事は

4工区に分けてやっていく

(主なもの)

- 9月2日 県市町長防災トップセミナーが開催され、出席しました。
- 9月16日 香川大学直島地域活性化プロジェクトによる竹あかり等の制作ワークショップが開催され、参加しました。
- 9月30日 「反射材着用啓発・交通安全街頭キャンペーン」を役場横にて実施し、参加しました。
- 10月10日 八日山地区急傾斜地崩壊対策事業計画に係る地元説明会が開催され、出席しました。
- 10月27日 直島コメづくりプロジェクト2024コメの体験「稲刈り」が積浦地区坪の奥の田んぼで開催され、参加しました。
- 11月1日 令和6年度警察・消防殉職者協力殉難者合同慰霊祭が開催され、出席しました。
- 11月10日 町制施行70周年記念式典を挙行了しました。
- 11月13日 四国運輸局坂野交通政策部長他が国土交通省「交通空白」解消本部の事業説明のため来庁されました。
- 11月15日 国保制度改善強化全国大会が開催され、出席しました。
- 11月25日 香川人権研究所の事務局長を講師に迎え、人権・同和問題職員等研修会が開催され、出席しました。

主な質疑

カーブミラーの設置を

Q (西岡) ベネッセ敷地入り口と南道路の交差点は、一時停止しない自転車やバイクが多く危険だ。カーブミラー設置はできないか。

A (町長) 県道と私道であり、ベネッセ側が注意をして出てくるのが原則だ。交差点に出る時には安全確認を申し入れはしている。

Q (西岡) 文教の信号機のところにもカーブミラー設置の要望があるが。

A (まち観課長) 再度場所を確認して検討したい。

トップセミナーの内容は

Q (中根) 県市町長防災トップセミナーの内容は。

A (町長) 平成30年の北海道胆振東部地震の教訓として、援助を受ける側の体制をしつ

国保制度改善強化は

Q (宮原) 改善強化の目標等が決まったのか。

A (町長) 医療保険制度の一本化を早期に実現、財政基盤強化のための公費投入の確保を確実に実施すること等の要望活動だ。

交通空白を埋めるには

Q (浜口) 各地でフイドシェアを進めようとしている。直島で聞いたことはあるか。

A (町長) ホテル業者や住民から一度も聞いたことはない。

アイランダーでは

Q (西岡) 直島への移住・定住に興味をもった人はいたか。

A (町長) 全国から80ほどの離島関係が一堂に会し、物販や人の募集等、いろいろなことをやっている。名前を売り、知名度を高めることが主な目的だと思っている。

壊対策工事は大掛かりになると思う。対象戸数と総工事費の概要は。

A (町長) 県施工の工事であり、国等から補助金が出る。そのため工事費の概算は聞いていない。

4工区に分け、対象戸数は12〜13戸あり、工事難しと思うが、事故等ないよう県にはお願いしようと思っている。

Q (浜口) 個人負担は生じないのか。
A (町長) 県の事業で国から補助金が出るので、負担が発生するとは聞いていない。

Q 傾斜地の崩 (浜口) 急

八日山地区の工事は

直島への移住相談は少しはあったが、全国の離島の苦労話はどこも一緒かなと思う。



八日山地区の危険な急傾斜地



津山教育長

バドミントン部で
取り組んでいる

地域クラブ活動 直島型の現状は

(主なもの)

- 9月12日 令和6年度第4回幼小中合同研修会に参加しました。研究主題「自立・共生－幼小中連携の中で人間尊重の精神を高める－」に基づき、5学年道徳科の学習指導が公開されました。
- 9月17日 お月見ウォーキングを海の駅赤かぼちゃ広場から地中美術館チケットセンターまでの往復区間で開催しました。
- 9月19日 第10回部活動の地域移行推進準備会を開催し、直島型地域クラブ活動の実現を目指して、学校支援ボランティア(バドミントン部)の実施状況と今後の在り方を協議しました。
- 10月16日 幼児学園園長、小・中学校長と令和6年度中間目標面談を実施しました。
- 10月24日 香川県教育委員会副教育長等が来庁し、「こども図書館船ほんのもり号」についての説明を受けました。
- 11月2日・3日 教育文化祭が開催されました。
- 11月30日 小・中学校による「令和6年度 Meet the world」が開催されました。



ALTをご案内



A (教育長) 昨年度までは、数名不登校の生徒がいたが、現在小学校・中学校において不登校の児童・生徒はゼロとなっている。

Q (山上) 文科省の調査結果によれば、香川県内の不登校の数は増加しているが、直島の現状は。

不登校の調査結果

見られている。中学校からは、行事の企画運営に生徒を積極的に参加させている。などの報告を受けた。

主な質疑

幼小中合同研修会

Q (西岡) 道徳科の学習指導の内容は。

A (教育長) SNS上で悪口に発展した事例を取り上げ、その対応について話し合いをした。討議会では直島独特の人間関係を踏まえた指導が必要ではないかとの意見があった。

直島型地域クラブ活動

Q (中根) 移行に向けて現状と課題は。

A (教育長) 現在、学校支援ボランティアの指導により移行に向け取り組んでいる。



ボランティアが指導

また、保護者の労力・金銭的負担が生じないような形で実施したい。

教員の採用状況は

Q (山上) 教員のなりて不足が問題となっているが、令和7年度香川県教職員採用試験の状況は。

A (教育長) 合格者数は、小学校134人、中学校120人、養護教諭5人等であり、昨年より合格者を増やしている。

こども図書館船事業

Q (西岡) 具体的内容は。

A (教育長) 安藤忠雄氏から、船をチャーターし瀬戸内海の島々の子どもたちに本を届ける「こども図書館船ほんのもり号」を香川県に寄贈したいという提案があり、令和7年の春から5年程度の事業と聞いている。

学校の目標申告・評価制度

Q (宮原) 令和6年度の中間目標面談の内容は。

A (教育長) 幼児学園からは、あいさつができるようになった園児が増加。小学校からは、学力・体力の伸びが見られている。中学校からは、行事の企画運営に生徒を積極的に参加させている。などの報告を受けた。

3人が登壇

問う

おいて作成しています



小林 町長

中根 議員

A

(町長) 議員ご指摘のとおり、本村

本村地区の西町にある大溝に、ガードレールも溝蓋もない危険な場所があり、子どもや老人、観光客が落ちるとしても危ない。
現に落ちた事例も何件もあり、早急に対策を取らないと最悪なことも考えられる。溝蓋やガードレールなどの転落防止対策を早急に望む。



上のような防護柵を

大溝に転落防止策を

〔町長〕今年度か来年度に設置

地区タニワキ理容店付近から役場庁舎横までの排水路は、溝幅2・5mほど、深さは1・5m程度あり、広くて深い構造となっている。この排水路は、自治会による溝掃除や町が実施している下排水路土砂取除工事の作業効率を考慮し、現在は溝蓋や防護柵は設置していない。

しかし、このような道路脇の排水路等に転落し、負傷・死亡する事故が全国的に発生しており、

最近では、外国からの来訪者が転落する事故も発生している。

防止対策として令和4年度には宮ノ浦地区直島銭湯付近に防護柵を設置しており、本村地区においても、既に転落防止柵の設置を計画している。計画が整えば、今年度または来年度において設置したいと考えている。

(中根) なるべく早く設置され、町民をはじめ観光客の安心安全が保たれるように切に願う。



小林 町長

山上 議員

A

(町長) 現在の財政事情は、本年度

ここ数年の本町の決算状況から、一般会計関係の基金残高は、平成30年度末に21億円あったが、ここ数年減少し続けている。また本年度補正予算において、教育施設と道路の公共土木施設の維持改修に前年度繰越金をすでに全額充当していることから、今年度決算での基金収支も、昨年度同様マイナスになると考えられる。そんな中で、現在各課において令和7年度予算の編成作業を進めているが歳出については、人件費、扶助費の減少は期待できず、地方創生関連の事業費や公共施設の維持改修や更新費用、また特別会計への繰出金の負担

もあり、今後も厳しい財政運営が続くことが予想される。
しかし、今後の特殊財政事情やいつ起こるか分からない台風災害、地震災害などの非常事態へ対応するためにもある程度の基金残高を確保しておく必要がある。
最近では、財政危機を宣言する自治体もいくつかできており、人口の少ない小規模自治体の運営は、ますます厳しくなると予想されることから、今後の町財政の見通しについて町長の見解を伺う。

町財政の見通しは

〔町長〕今後、真摯に取り組む

とが必要であり、今後の町財政に真摯に取り組んでいく。

また今後、三菱マテリアル直島製錬所の増産計画、三菱マテリアル生活協同組合の建て替え問題、消防団第3分団屯所の更新事業、地震津波対策など多くの事業が控えているが、有利な地方債の活用などにより財政の安定化を図っていく。

Q

(山上) 歳出の見

直しも重要だが、ふるさと納税の強化など歳入の確保が必要だと思

A

(町長) 本町には

特産品が少なく苦しいところではあるが、様々な検討が必要であると考えている。

一般質問

町政を

内容は質問者の責任に



小林 町長 西岡 議員

港湾周辺の安全対策を

〔町長〕 県と協議したい

ここ最近の直島町は、コロナ前のように以前の活気が戻り、多くの来島者が訪れるようになってきた。
さて、宮浦港のコンクリートの駐輪場周辺に、船を待つ人や、赤力ボチャを見にいり多くの来島者が見られる。そこに

駐輪場から勢いよく安全確認もせず飛び出してくるバイクがいる。

出入口近くを歩く人や車がヒヤッとした経験がある町民や来島者の声がよく聞かれる。何か良い対策はないものかと、駐在に相談したところ、「駐車場の出入口に減速帯を設置したら効果がありますよ」との意見だった。

来年は瀬戸内国際芸術祭も開催され、今以上に多くの来島者が訪れると想定される。

町民や来島者の安心安全確保のために、県に減速帯の設置を要望していただきたい。

また、駐輪場を利用している、三菱マテリアルや関連企業への安全指導もお願いしたい。

A (町長) 人々の行動や活動が以前のよう

に活気が戻り、当町にも大変多くの来訪者が



出入口では安全確認を

訪れている。

宮ノ浦に設置しているコンクリート造りの駐輪場においては、島外から

通勤している方々が多く利用している。船の発着

時間帯は駐輪場からバイクや自転車が勢いよく飛び出すと危険な状況になる

ことも考えられる。管理者である県と協議したい。

Q (西岡) 住吉神社の交差点は、南北

方面が優先道路と聞いているが、東西方面からの車両との危険な状況もあるのをご存じか。

A (町長) 確かに私も時々目にする。

フェリーの着く時間帯は、

本場に車、バイク等が多い。一旦停止ラインがあるので交通マナーを守っていただくよう、周知をしたい。

Q (西岡) 旧新宮バスの交差点でも、同様に、すごいスピードで走っている車やバイクがいる。対策が必要ではないか。

A (町長) 過去に接触事故もあったので、よく見えるカーブミラーを設置する等、改良している。

令和6年度

補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1082万円を追加し、予算総額は36億1802万円となりました。

● 歳入の主なもの

● 地方交付税

635万円追加

● 総務費国庫補助金

447万円追加

● 歳出の主なもの

● 企画費

● 地方公共団体情報システム標準化事業委託料

638万円追加

● 第5次L G W A N ネットワーク構築業務委託料 106万円追加
● 水産業振興費
● 自動車購入費 338万円追加
(平成20年4月購入のトラック買い替え)



工事請負契約

契約の目的

令和6年度消防団第1

分団屯所更新工事

契約の方法 随意契約

契約金額

1億7930万円

契約の相手

株式会社まつもとコーポレーション



整備が進む第1分団屯所

委員会レポート

経済・民生

山上 委員長

環境フェスタ2024 開催

Q 令和6年度診療状況
(4月～10月末)

入院患者数 292人
(前年度 261人)
外来患者数 6669人
(前年度 7259人)
時間外救急患者数 145人
(前年度 257人)

A マイナ保険証の
利用状況は。
現在20%弱の方
が利用しており、
保険証にひもづけでき
ない方には診療所で
できる旨を説明している。

Q 敬老会

9月8日
参加者 212人

対象者 521人
出席者 121人
女文楽、幼児学園、文
化協会による演芸鑑賞
〔健康推進室〕

Q コロナワクチン

今年度のコロナ
ワクチン接種助成

Q 八日山地区急傾斜地
崩壊対策事業

10月10日
地元計画説明会
出席者 17人

Q つり公園(10月末)

営業日数 150日
入園者数 1247人

Q 鳥獣捕獲数(10月末)

カワウ 30羽

Q 姫宮団地分譲状況

10月をもって完売
〔環境水道課〕

緑いっぱい、花いっぱい運動

9月19日・20日
フリージアの球根429
袋配布

Q 環境フェスタ2024

10月26日
海の駅かぼちゃ広場
来場者数 約900人



多くの人で賑わった環境フェスタ

中根 委員長

総務・文教

「島コン」カップル 8組誕生!!

〔総務課〕
10月27日
衆議院議員総選挙
投票数 1474票
投票率 58.89%
12月27日～30日
消防団年末警戒
1月12日
消防団出初式

〔まちづくり観光課〕
出会い隊「島コン」
11月30日～12月1日
男性 14人 参加
女性 13人 参加



大盛況だった島コン

Q ベスト1カップル 5組
ベスト2カップル 3組
(井下) 最近の出
会い隊のカップル
率とが現在進行中のカッ
プルはいるのか。

Q ふるさと納税

10月末現在 367件
1683万4千円
(山上) ふるさと
納税の額が年々
減っている。ベネッセに
特別な商品を出してもら
うよう話をしている。



ふるさと納税返礼品

〔課長〕 コロナ明
けで参加者が少な
い。カップル率は3～4
割ほどだ。現在進行中の
カップルは1組いる。

〔課長〕 実は定期
的に話している。
ふるさと納税に出せる基
準が厳しくなって、金額

〔教育委員会〕
卒業式・卒園式の日程
11月11日
直島ホールで開催

20歳のつどい
11月11日
直島ホールで開催

がどんどん上がり、魅力
がなくなってきた。
〔教育委員会〕
卒業式・卒園式の日程
3月14日
3月17日
3月18日
入学式・入園式の日程
4月9日
4月10日
4月11日



10月29日、中学3年生による1日議会が開催され、20の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。

皆さんに感想文を書いていたいただきましたが、紙面の都合上9人の生徒の感想文を紹介します。



生徒代表あいさつ
丹場 彩斗 さん

話し合いの大切さを学んだ

宮浦港の自転車置き場について

私は、今回の議会体験を通して、地域の人々との話し合いの大切さなどを学びました。今回私は、議長を務めました。その際、かまずに全員が分かりやすいように言うことを意識しました。また私は、議会体験で一般質問をするにあたって、地域の方々が暮らしやすいような島にするために、みんなが不便に感じていることや、自分が不便に感じていることを考え、問題点を探しました。直島は観光客が多いので観光客目線でも考えました。各部署の担当の方々にも前向きに考えていただいたり、問題点を考えていただいたりしていただきありがとうございました。



石井 隆晴 さん

改めて考えを深めることができた

フェリーの定期券の利用について

2年生の時に議会の様子を見学させていただき、今回の議会体験がとても待ち遠しかったです。私は、中学生のフェリーの定期券の利用について質問させていただきました。実際に質問席に座って質問してみると、教育長さんが一つ一つ丁寧に答えてくださったので、自分も改めて考えを深めることができました。

再質問はなかなかハードルが高く再質問することはできませんでしたが、実際に再質問していた友だちは本当にすごいと思いました。

なかなか経験できない各部署の担当の方々へ質問や見学をさせていただき、感謝しています。この貴重な時間で経験してきたことを生かし、直島に貢献できたらいいなと思っています。



浮田 頼人 さん

緊張とワクワクの二つの気持ち

ゴミ箱の設置について

今回の議会体験は緊張とワクワクの二つの気持ちがありました。自分で考えた要望が相手に伝わるのか、また意見が通るのか不安で緊張もしていました。ですが、実際議会で質問をすると、環境水道課長の方がゴミ箱の設置についてしっかり向き合ってくれました。来年度から、瀬戸内国際芸術祭が開催されるにあたってたくさんの方が直島を訪れると思います。そのためポイ捨ても増えていくと考えられるので、町にゴミ箱の増設を提案しました。検討していただいた結果、意見は通りませんでした。分かりやすく納得しやすい説明をしていただきました。この説明を踏まえてゴミが道や海に落ちていたら見て見ぬふりをせず拾っていくことを目標に頑張ります。



岡本 花菜 さん



山中 議長

真剣に考え問題解決に努めたい

公共交通機関のキャッシュレス決済の導入について

私は、公共交通機関のキャッシュレス決済の導入について提案させていただきました。一生懸命考えた提案について、丁寧に答弁していただいたことで考えを深めることができました。一つのことを実行するためには様々な人の協力が必要であったり、お金や場所の問題があったりと大変なことがわかりました。改めて、これまでしていただいた取り組みなどに感謝したいと思いました。今回体験して学んだことを、これからの直島町に役立てられるように考えたいと思います。そして、問題点があればたくさんの視点から見つめ、町民として真剣に考え問題解決に努めたいと思いました。



あんじ
近藤 行治 さん

真剣に考えることの大切さを理解

横防地区の芸術作品の充実について

今回の1日議会体験で私は、横防地区の芸術作品の充実について質問をさせていただきました。難しい質問をするので、どのような対応をされるか不安と緊張を抱えていましたが、とても優しく対応していただき、とても気楽に質問をすることができました。また、私たちの質問に真剣に向き合い丁寧にわかりやすく答えてくださりとても有意義な一日になりました。この1日議会体験から、さまざまな町の問題点を見つめあい、真剣に考えていくことの大切さを理解することができました。



すかい
河野 寿海 さん

現状を見て答弁の根拠にされている

幼児学園向かい側の道路および崖の整備について

私は議会体験で、幼児学園向かい側の道路および崖の整備について質問させていただきました。私より前に質問していた人に、各部署の担当の方が詳しく分かりやすく説明してくれていたため、安心して質問することができました。自分の意見がしっかり伝わり、要望を検討してくれることになったのでよかったです。再質問した時は、説明してくださった内容に対して、自分が疑問に思ったことをていねいに説明するのが大変でした。各部署の方々が実際にその現場に行って、今の現状を見たことを含めて、答弁の根拠にされていることがわかりました。また、私が知らなかった、落石への対策に関する説明を伺うことができ、本当によかったです。



しょうまい
高木 翔真 さん



石井 議長



尊敬していた姿を自分も体験できた

フェリー乗り場の島民優先ゾーンの利用について

私は、フェリー乗り場の町民優先ゾーンについて質問させていただきました。実際に質問席に座り、質問してみるととても緊張しましたが、副町長さんが丁寧に答えてくれたので真剣に考えることができました。前の友達が質問しているときも、ほかの各部署の担当の方が一つの質問に前向きに答えてくださっているのを見て、とても有意義な時間になったと思います。2年生の時に、実際の議会を見学した際、相手が納得するように答える姿を本当に尊敬していました。その尊敬していた姿を自分が体験でき、とても嬉しく思います。

この1日議会体験を通して、自分自身で自分の住んでいる島の問題を見つけて考えることの大切さを学ぶことができました。



なほ
高橋 那歩 さん

さまざまな場面で社会に貢献できるよう

町全体での避難訓練について

今回の1日議会体験では、私たちが普段の生活の中では知ることができない議会の仕組みや、議員の役割について知ることができました。

実際に自分の考えた提案内容を、町に質問として投げかけてみたところ、町からはこれまでの取り組みや今後の方針など丁寧に答弁してくださり、意見を出しながら将来の直島町を作っていくことが感じられ、その過程がとても大切だと感じました。

また、自分の意見を伝えるには、とても難しかったことや、発言するだけでなく、相手の意見にも耳を傾け理解し、共感することもとても大事なことと気づきました。

今後は、今回の体験を活かし、学校生活や将来の社会生活でも、地域の人たちとの関わりや、周囲とのコミュニケーションを大切にしながら、さまざまな場面で社会に貢献できるように頑張る行動していきたいです。



ひさし
前田 尚慶 さん

落ちついてゆっくり話すことの大切さを学ぶ

中学校校舎の雨漏りの悪化について

私は議会体験で、議長と議員の2つの役職をしました。議長をするときには、大きな声ではっきり話すことを意識しました。初めは緊張してうまく話せませんでしたが、徐々に落ち着いてゆっくり読むことができました。議員としては、自信をもって質問することができました。議長をした時のことを思い出しながら、周りを見ながら落ち着いて読むことを大切にしました。

この議会体験を通して、緊張する場面でも落ち着いてゆっくり話すことの大変さを改めて感じました。緊張するとどうしても早くなってしまいます。だからどんな場面でも慌てずに落ち着いて対応していきたいです。この体験で学んだことを日常生活にも生かしていきたいです。



もなみ
山中 萌波 さん



フラ・ケイキ メンバー

- 伊藤 葵さん
- 森本 悠玄くん
- 大塚心愛羽さん
- 伊藤 宗介くん
- 杉 和佳奈さん
- 今井 結萌さん
- 鴉崎ひなたさん
- 今井 葵彩さん
- 松村 花恋さん
- 松野 蓮音さん
- 杉野 那々子さん
- 大川 優さん
- 杉 亜里紗さん
- 下津美紗妃さん

一緒に楽しく

踊りましょう



マコ先生

今回はフラダンスでがんばりよる「フラ・ケイキ」の皆さんと代表の今井さん、指導者のマコ先生の登場です。

Q まず始めに、いつ頃結成されましたか。

（今井）2014年4月に結成しました。

Q 現在、メンバーの人数は。

（今井）幼稚園から高校生までの14人で頑張っています。

Q どのようなイベント

見ている人も楽しい気持ちに

で披露していますか。

（今井）先生のスタジオが主催しているイベントや火まつり、芸能大会、環境フェスタ、夏にあるハワイアンイベントなどです。

Q では、メンバーの皆さんに質問です。

① 始めてどのくらいになりますか。

② フラダンスはどういったところが楽しいですか。

（森本悠玄くん）①年少から始めて今年で4年目です。



楽しくレッスン中

② はじめは難しかったけど大会で1位になったので大好きになりました。

体を柔らかく使って頑張ります。男募集!!

（今井結萌さん）①年少から始めて5年目になります。

② 習い始めた頃は、人前で踊ることが恥ずかしかったです。

たけど、段々と人前で踊ることが楽しくなりました。

（伊藤宗介くん）①年長から始めて3年目です。

② フラを踊るのは楽しいけど、女の子と一緒に踊るのはちょっと恥ずかしい。

でも僕は男の子なので、堂々とカッコよく踊ることを一生懸命頑張っています。

（鴉崎ひなたさん）①年少から始めて6年目になります。

② 始めはきこちなく踊ってたけど、レッスンして

踊れるようになり嬉しいです。衣装を着てメイクもして踊るのが楽しいです。

（松野蓮音さん）①年中から始めて7年目になります。

② フラを踊るにはスカートを揺らさないといけないので難しいけど、スカートをたくさん揺らすとかわいく踊ることができ

ます。

（杉亜里紗さん）① 習い始めて11年になります。

② フラは普段と違う自分

を出せます。見ている人も楽しい気持ちになるのが大好きです。自信を持って人前に立つことができますようになりました。

Q 次に先生に質問です。指導していて大変なこととはありますか。

（マコ先生）幼児から幅広い年齢の子どもたちが集まっているので、まとめるのが大変です。逆に良いところは、お姉ちゃんたちが一緒に声かけをして、お手伝いをしてくれます。

Q 最後に直島の皆さんにメッセージなどありませんか。

（マコ先生）今年もたくさんの方の応援ありがとうございます。来年2月からフライベントが始まります。私たちと一緒に踊ってくれる仲間を募集しています。見学&体験してみてくださいませ。

フラ・ケイキの皆さんありがとうございますとございませした。フラダンスに少しでも興味のある方は、西部公民館で木曜日17時からレッスンしているそうです。ぜひのぞいてみてください。新しい自分を発見できるかもです。



編集後記

明けましておめでとうございます。本年も議会だよりのご愛読をよろしくお願ひします。

昨年の10月には衆議院議員選挙があり、自民・公明の与党が15年ぶりに過半数割れとなった。新しく衆議院議員になられた方々には、国民が安心、安全に暮らせる国づくりをぜひお願いしたい。我が町でも人口・空き家・空き地対策等、多くの課題があります。が、町民の皆さまにもご協力いただいで、大切な「ふるさと・なごしま」を盛り上げていきたいと思います。

（小野 記）

広報編集特別委員会

- 委員長 井下 良雄
- 副委員長 小野 孝一
- 委員 山下 玲子
- 山上 英一
- 西岡裕喜広
- 中根 清孝
- 宮原 三郎
- 濱口 敏夫